

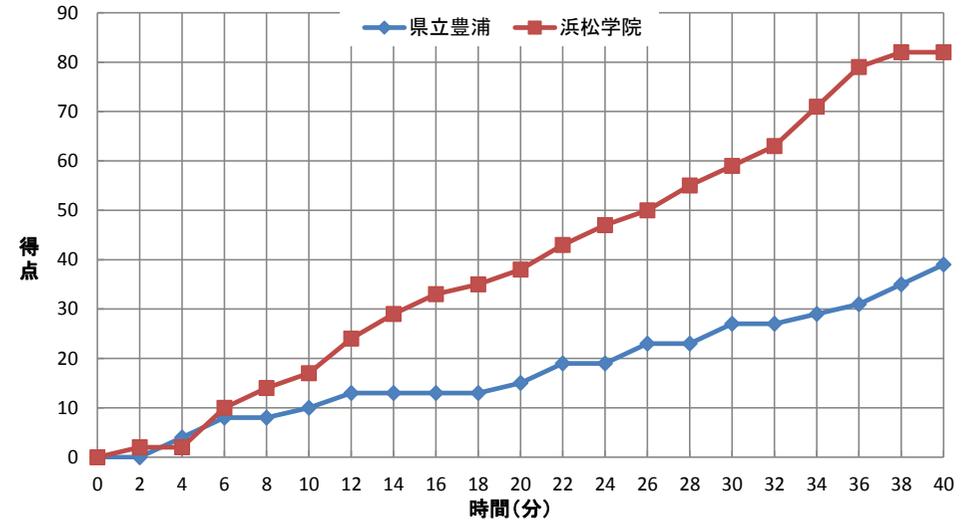


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子		平成28年8月1日		11:10 開始													
2回戦		県立総合体育館大アリーナ		F													
県立豊浦	39	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>5</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>12</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>	10	1st	17	5	2nd	21	12	3rd	21	12	4th	23	82	◎	浜松学院
10	1st	17															
5	2nd	21															
12	3rd	21															
12	4th	23															
(山口県)					(静岡県)												
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	甲斐 将吾	0	0	0	0	1	4	伊藤 颯太	1	0	0	1	1				
* 5	山本 裕貴	8	0	3	2	1	* 5	ダシルバ ヒサシ	6	0	3	0	1				
* 6	高橋 潤地	12	0	6	0	4	6	青島 和哉	8	0	4	0	3				
7	田中 啓登	0	0	0	0	1	* 7	横川 真那斗	25	6	2	3	0				
8	上田 直輝	2	0	1	0	2	* 8	石川 晴道	12	4	0	0	1				
* 9	小嶋 秀忠	0	0	0	0	5	* 9	横山 寛太	13	0	5	3	0				
10	阿部 寛也	6	0	3	0	2	10	小池 玲史	0	0	0	0	0				
11	田邊 開	0	0	0	0	0	11	谷口 夏樹	2	0	1	0	0				
* 12	田中 壱歩	11	1	4	0	4	12	堀内 佑真	0	0	0	0	0				
13	山田 圭介	0	0	0	0	0	* 13	田中 旭	15	0	4	7	2				
14	二見 健太	0	0	0	0	0	14	岡村 泰知	0	0	0	0	1				
15	喜志永 修斗	0	0	0	0	1	15	亀山 憧弥	0	0	0	0	0				
コーチ	枝折 康孝					0	コーチ	森下 貴之					0				
Aコーチ	辰本 将和						Aコーチ	村上 幸哉									
合計		39	1	17	2	21	合計		82	10	19	14	9				
主審: 鈴木悟																	
副審: 中澤久馬																	

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	10:44	16:51	31:51	:	:	:	:	:
TeamB	:	:	:	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、浜松学院はハーフコートマンツーマン、県立豊浦は3-2のゾーンディフェンスとマンツーマンディフェンスを織り交ぜたディフェンスでゲーム開始。両チームとも守備の良さが目立つ静かな立ち上がりであったが、浜松学院は厳しいディフェンスから県立豊浦のミスを誘い、17対10の浜松学院リードで第1Pを終える。

第2P、追い上げを図る県立豊浦は3-2のゾーンディフェンスで流れを変えようとするが、浜松学院の厳しいマンツーマンディフェンスをなかなか攻略できず、点差が縮まらない。浜松学院は、県立豊浦のゾーンディフェンスをアウトサイドシュートを起点に崩し、徐々に点差を広げる。県立豊浦はオフェンスリバウンドを浜松学院に連続して取られ、なかなか流れを引き付けられない。一方、浜松学院は、#8の3Pなどでさらに点差を広げ、38対13で浜松学院がリードして前半を終える。

第3P、県立豊浦はなかなか突破口を見いだせず、2-2-1のオールコートプレスを仕掛ける。その後、落ち着きを取り戻した県立豊浦は、多彩なスクリーンプレーから相手の裏を突くプレーで追い上げを試みるもアウトサイドシュートの精度を欠き、なかなか点差を縮められない。浜松学院は#8、#7の3Pで得点を重ねていく中、県立豊浦もなんとか#8の連続スティールや#6のミドルシュートで食らいつく。しかし、点差は広がり59対27で第3Pを終了する。

第4P、反撃の機を待つ県立豊浦だが、シュートを決めきれず、逆に浜松学院が速攻による得点と#13を中心としたインサイドプレーで連続して得点を重ねる。点差を縮めたい県立豊浦は、オールコート2-2-1の激しいディフェンスを展開するが浜松学院#7の連続3Pやドライブインによる得点でさらに点差が広がる。最終的に、強固な守備で県立豊浦を苦しめた浜松学院が82対39勝利し、3回戦へと進出した。

戦評: 手島祥平

記録: 山陽女学園高等部